

いつもどおり

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

早いもので今年もあとわずかとなりました。皆さまは年末年始の過ごし方はお決まりでしょうか？ 私は長く客室乗務員をしてきましたので、年越しの瞬間を空の上で迎えることも多くありました。国際線の場合は時差の関係で、年明けが2度訪れるといった珍しいことにも出くわしますが、振り返ってみますと、乗務中に「年が明けた！」と実感し高揚することはほとんどなかったように思います。機内アナウンスで年明けのごあいさつをしたり、年末でお疲れのご様子にあわせて、その日ならではのおもてなしをしたりするのですが、「お客さまに心地よく過ごしていただき、清々しい気持ちで目的地に向かっていただきたい」という気持ちはいつもと同じ。普段と変わらぬ緊張感を持ってフライトをしていました。

年月を経て、客室本部長という立場になってからは、大晦日は成田からその年の最終便で飛び立つ乗務員たちを見送りに、元旦は羽田から新年最初の乗務に向かう乗務員に声をかけに行くのが恒例でした。どこかそわそわした雰囲気空港の舞台裏では、乗



務員だけでなく大勢の仲間が、持ち場持ち場でやはり「いつもどおり」安全・安心で快適なフライトをお届けしようと担当便の準備をしています。その姿を目にすると、私自身も背筋が伸びる思いがするとともに、この仕事ならではの特別な連帯感を持ったものでした。社長1年目の元旦は、初日の出フライトにご搭乗いただくお客さまのお見送りをさせていただきます。

そんな私が年明けを実感するのは、昔も今も、自宅に帰ってからです。懐かしい友人や恩師からの年賀状などが新年を運んでくれ、ようやくくほっと一息つくことができます。

とりとめのない年末年始の話でしたが、改めて今年も一年間、誠にありがとうございました。お客さまの笑顔や温かい言葉が、私たちの何よりの励みです。皆さまのご健康とご多幸をお祈りしつつ、新たな年にまたお目にかかれることを、社員一同、「いつもどおり」心よりお待ちしております。

イラスト／山本祐布子

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。
1985年4月入社（客室乗務員）。2019年に客室安全推進部長、2020年に執行役員・客室本部長、2022年に常務執行役員・客室本部長、2023年に専務執行役員・カスタマー・エクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員・グループCEOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。

